

丹生山田の里の歴史と文化財に触れる！

農村歌舞伎舞台をめぐるコース

コース 神鉄箕谷駅～無動寺～下谷上農村歌舞伎舞台～上谷上農村歌舞伎舞台～神鉄花山駅(約10km・一般向)

歩行時間 約2時間50分

吹く風が心地よく感じる季節になりました。いよいよ行楽シーズンの到来です。今回は神戸市北区にある農村歌舞伎舞台を訪ねて、丹生山田の里を歩いてみました。

農村歌舞伎舞台とは農閑期に行われる農村歌舞伎を上演する場所で、当初は川原や田園に仮小屋を作り上演していました。それが常設の舞台上演されるようになり、その舞台は神社境内にある長床(ながとこ)と呼ばれる集会施設の兼用でした。今回訪ねる下谷上農村歌舞伎舞台は天彦根(あまつひこね)神社の境内、上谷上農村歌舞伎舞台は天満神社の境内にあります。コースは、神鉄箕谷駅をスタートして、まず、無動寺に向います。無動寺には約3mの本尊大日如来をはじめ、平安時代の仏像が間近で七体も拝むことができます。拝観は出来ます。(拝観料/大人¥200・小人¥100)



②



①

神鉄箕谷駅を降りて信号を右へ。次の信号横の脇道を下ります。橋を渡り右へ、川沿いを少し行くと小橋の信号。横断して歩道を左へ。約10分ほどで大滝口の信号。直進して少し先の脇道に入り、中曾根橋を渡ります。成道寺の前を通過して車道に合流したら左へ。谷寺口の信号を右へ渡り、約30mほど先で右手の脇道に入り、この道を歩きます。約5分ほどと新兵衛石①と道標があり、道標に従い無動寺②に向かいます。坂道を約15分ほど上がると無動寺に到着です。参拝して、静かな境内で少し休憩の後、来た

道をひきかえし戻ります。約30分ほどで小橋の信号まで戻ります。ここからは2つの農村歌舞伎舞台を見学して、ゴールの神鉄花山駅を目指します。

道標に従い川沿いを左へ折れ、砂川橋を渡り、山田中学校裏手にあるのが下谷上農村歌舞伎舞台③です。

この舞台は、天保11年(1840年)の再建で、国の重要有形民族文化



③



④



⑤

財に指定され、回り舞台・迫り・花道のどんでん返しなどの舞台機構をそなえています。

見学の後、次は上谷上農村歌舞伎舞台④を目指します。中学校裏の道を直進します。約20分ほどで谷上駅前信号。次の坂口の信号左手の道を上がります。右手には双子山が見えています。約10分ほどで上谷上農村歌舞伎舞台に到着しました。

この舞台は天満神社の境内に本殿と正対して建てています。文久3年(1863年)の建立で、割拝

殿形式で舞台下を参道⑤が通っています。上演の際には板で覆い使用します。4台の二重床几(にじゅうしょうぎ)による床几回しという、上回し式回り舞台を使っています。ここからゴールの神鉄花山駅までは約10分ほどで到着します。